

## 新しい年度がスタート！

令和6年5月に今年度第1回目、6月には第2回目の学校運営協議会を開催しました。3名の新たな委員さんをお迎えして、新年度のスタートです。

江府町の学校運営協議会は、学校、保護者、地域の代表と、関連団体の代表等で構成されています。それぞれの立場から代表を出していただくことで、さまざまな視点から江府町の子ども達をみていけるような仕組みとなっています。

コミュニティ・スクールの活動も、学校と地域へ少しずつ定着してきました。今後はさらに、「活動ありき」にならないよう、めざす子ども像を今まで以上にしっかり共有して進めていきます。

▶今年度の活動予定について話し合いました。



～江府町学校運営協議会委員の皆様をご紹介します～  
任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

	氏名(敬称略)	所属
1	井上 廉女	地域代表(江尾地区)
2	北村 公仁	地域代表(米沢地区)
3	井上 裕吉(副会長)	地域代表(明倫地区)
4	宮本 正啓(会長)	地域代表(俣野地区)
5	高津 亮二	江府町青年団
6	遠藤 真吾	江府町観光協会
7	船越 寛明	青少年育成江府町民会議
8	藤原 眞輝	地域学校協働活動推進員
9	加藤 浩美	保護者代表(保育園)
10	川端 陸嗣	保護者代表(ブナの森)
11	加藤 千恵子	保護者代表(日野川)
12	景山 敬文	奥大山江府学園 校長

協議会の会議録や活動内容は、奥大山江府学園のホームページで見ることが出来ます。ぜひそちらもご覧ください。



(<https://www.town-kofu.jp/kofugakuen/>)

## 子どもたちと一緒に活動してくださる方を大募集中！

🚩 今後の予定

- ①奥大山大根クラブ(9～11月頃)
- ②ブナの森校舎校庭の遊具設置(秋頃予定)
- ③掛け算九九・古文聞き取り(11月頃)
- ④ながら見守り推進活動(通年)

月  
日  
曜  
日

①の奥大山大根クラブは今年で5年目！今年も収穫した大根を切干大根に加工します。

②校庭の丸太ステップを新しくします。

③覚えた掛け算九九や古文を地域の方に聞いてもらいます。

緊張した中で正しく暗唱できるか？！

④登下校の子ども達を家事などしながら見守ってもらいます。

「これなら出来る」「子や孫がいるから」「時間がある時だけでいいなら」・・・

できる事を、できる人が、できる時に。

地域の皆さん、保護者の皆さんのご参加を

お待ちしております！まずは学校にご一報ください。



# 活動紹介

江府町学校運営協議会では、以下の3つの部会に分かれて課題や活動について「熟議」を行っています。

○学習・行事支援部会 ○健全育成部会 ○地域活性化部会

## 4月 日野川のこいのぼりボランティア

健全育成部



▲重いボールも皆で運べば重くない？



▲取付には少し力がいらいます

日野川校舎の生徒がこいのぼり設置にボランティアで参加しました。こいのぼりをあげるのは初めてという生徒も多く、江府町愛漁会の方に教わりながら作業を進めました。この日は風がほとんどなく、コイが泳ぐ姿がなかなか見られませんが、早速多くの見物の方も来られていました。今年で4回目の参加となります。

## 8月 江尾十七夜ボランティア

健全育成部



▲まずは土俵の場所を決める所から



▲小さな花火のカスを探して拾います

「今年の十七夜は、ただ楽しんで終わりじゃない」をキャッチコピーにしてボランティア募集をしたところ、たくさんの生徒が参加してくれました。第1弾は観光協会のお手伝いでポスター貼り。第2弾は相撲大会の土俵づくり。第3弾は打ち上げ花火のカスを拾いました。それぞれの場面で活躍の場があり、しっかりと地域の担い手として育っています。

## 6月 フナの森校舎 裏山整備

学習・行事支援部



▲切った竹を使ってひみつ基地づくり



▲大人達はハシゴづくり

ウラヤマ（ブナの森校舎校庭の法面）は、子どもに人気の遊び場です。楽しく安全に遊べるよう、年に1度手入れをするのが恒例になりました。今年は子ども達の大好きなひみつ基地づくりもしました。切った竹を組んだだけの簡単な物でしたが、なかなかの出来。もう一つは、ウッドデッキへ上がるハシゴづくり。ご協力いただいた棟梁の指示のもと、さすが、立派なものが完成しました。

## 7月 鏡ヶ成 草花と昆虫観察会

地域活性化部



▲ルーペを使ったらよ〜く見えるね



▲なんとか全員が登頂できました

江府町の自然を知り、ふるさとに愛着を持つことを目的に、鏡ヶ成で観察会を行いました。「食べられるもの」「いいにおいのもの」などのビンゴゲームのお題を探しながら、擬宝珠山の頂上を目指しました。

下山後は芝生でお弁当を食べ、午後はキャンプ場併設の自然学習歩道を散策しました。特別な遊具などなくても、子ども達は自然の中でいくらかでも遊んでいました。